

夢を形に

夢を形にして行くために

夢を形に～夢を形にして行くために（プロローグ）

1 はじめに

こんにちは、夢の翻訳家 ひろ健作です。いま私は、九州は佐賀県の三瀬村というところに来て温泉に入り、その後、「エレナ婦人の教え 第二話」で出てくる田楽屋さんにやってきました。そこで串刺しのアユやぶつといこんにゃくたちにミソをつけて、食べているところです。



裏道に入って見つけた田楽屋さん



炭火の火力はけっこう強く、軍手で裏返さないと熱い

ちょっと山道の国道から外れただけなのに、こんな場所があったなんて……。音のない空間、ゆったり流れる時間……。ちょっと前まで忙しい、忙しいと時間に追われていたのは、一体、何だったのでしょうか？癒しの空間、静かな場所って、目の前にあっても、目には入ってこないものですね。

では、このテキストを作ろうと思ったきっかけからお話ししましょう。

このテキストを作ろうと思ったきっかけ

私がお伝えたいことは、どうしたら夢を形にして行けるか？ということ。日常の生活を抜け、現実に起きている問題を解き、理想の状態に近づけて行くには？その道案内をしたいと思い、このテキストを作りました。

対象としている方

対象は、ふつうの人。ちょっとしたことで喜んだり、悩んだりする人。そんな人で少しでもいまの状況を良くしたいとか、やりたいことを見つけたいとか、始めたいという方を対象としています。

つぎにテキストの全体像を把握していただくために、構成がどのようになっているかをお話します。

2 テキストの構成

本テキストの構成は、3つのステップを軸にできています。この3つのステップは、私が20年の歩みの中で、最も強力に自分に効いたものを3つの柱にまとめたものです。話している内容は、このどれかに基づいているため、いつもこのステップを意識しながら読むことで私がお伝えしている全体像をつかめ、自分に生かすことができます。

〔夢を形にして行く3つのステップ〕

ステップ1 行動（とにかく一歩踏み出す）

ステップ2 意識（感じている想いを出し、どうなりたいかを知る）

ステップ3 修正（適切なガイドに沿って軌道修正する）

（以上、ステップ1～3を繰り返し）

3 ステップを踏む意味

この3つの基本的なステップは、ノウハウやマニュアルといったものではなく、航海する際の羅針盤（コンパス）となる基準・柱になるものです。ですからこのステップを踏めば、人生の荒波でも落ち着いて航海して行けるようになるでしょう。たとえ大波に遭い、一時的に遭難しかかって、船が揺れ動いても、この基本ステップに戻って、自分がどの位置にいるのかチェックし、立て直せば、また、落ち着いて乗り越えて行けるでしょう。

たとえば、どこか旅行に行くときを考えてみてください。そんなときは、どこに行きたいのかを考え（ステップ2）、情報を探し、旅行の手配と準備をし（ステップ1）、間違いがないかチェックするでしょう？（ステップ3）。それと人生の旅もまったく同じことです。

〔補足説明〕ステップ1～3の意味（ここは興味のある方だけ読んで下さい）

ステップ1「行動」

ほとんどの人は自分の思い込みによって行動を制限させています。たとえば、朝起きる時間から1日の過ごし方で、ほとんど無意識的に同じように過ごしています。これは、自分の思考パターンに沿って日々を生活しているということ。よほどのことがない限り、その生活パターンを変えることができません。ということは、毎日の延長線を想像すれば、将来の自分の姿もわかってしまいます。

ステップ2「意識」

思い立ったが吉日と、やみくもに行動する人がいます。手当たり次第に仕事を変えたりする人がそうです。ステップ1の「行動」だけでは、時に本当にやりたいことからそれ、遠回りをしてしまうことがあります。そうならないためには、自分の中に眠る、やりたいこと、こうなりたいと願う姿を探りながら、行動して行く必要があります。そうすれば、本来行きたい目的地に早くたどりつけるからです。

行きたい方向を知るには、感じている想いをどんどん出し、表面の想いを出して行きます。するといろんな感情や意識のブロックが外れて行き、本当はどうしたいのか、どうなりたいのかという想いがはっきりとてきます。

ステップ3の「修正」

ステップ1と2を踏んでも、うまく行かないことがあります。それは自分一人でやっているため、途中で道に迷ったり、気づかないうちに落とし穴にハマってしまうことがあるからです。そうならないためには、その道の先輩や道案内をしてくれる人に尋ねたりして、行っている方向をときどきチェックする必要があります。

また、一人で旅をするより、同じ想いを持つ仲間とともに旅をする方が楽しいし、自分がズレていることも気づきやすいので、時おり、仲間と話すことをお勧めします。(仲間とは以前からつきあう友だちではなく、同じ夢や考えを持つ想いを共有できる人のことです。)

ミニワーク

では、ここでミニワークをしてみましょう。これからどうなりたいか、日常のどの部分を変えたいのか、どういう夢があるのか？どうしたいのか？思いつくまま書いてみてください。

例：やりたいこと、こうなりたい、ここを変えたい、ここが気になる、など何でも結構です。

では、これから本編に入って行きます。気持ちの準備はいいですか。いざ出航、プワーっ（汽笛の音）

<目次>

- 1 はじめに（P 1）
 - 2 テキストの構成（P 2～3）
 - 3 本編「夢を形にして行くために」
 - 01 なぜ、夢が実現しないのか（P 4）
 - 02 私の人生航海
- （目次執筆中！！！！）

3 夢を形にして行くために

夢の道案内とその翻訳をライフワークとしている私が、最初にお伝えしたいこと。それは、どうすれば成功できるかという話ではなく、

なぜ、夢（やりたいことや理想の環境）が、実現しないのか？

なぜ、いろんな教を学んでも、うまく行かないのか？

ということです。

3 - 01 なぜ、夢が実現しないのか？

皆さんもありませんか？いろんな本のタイトルを見ると、“これさえあれば解決”とか、“たったこのひとりで ”、“うまく行く ”といった即効で解決するようにうたっている。そういうタイトルにつられて買ってはみたものの、うまく使えなかったことが。

なぜ、うまく行かないのでしょうか。その理由として一番大きいのが、

ツールやノウハウ、マニュアルといったものは、ひとつの手段です。船で言えば、帆柱、補強器具、舵、イカダ、地図、コンパスといったものです。そういう方法や手段をいくら手に入れたとしても、肝心の自分がどういう使い方をしているのか、自分自身を見ないと何も変わらないのです。使うべきときに使えるような自分になっていないと、宝の持ち腐れになってしまうということです。